

まことに今大半當も無くまち方針だ!! 現在日も暮り、左水でおまけに仕事は、うんとさせねえ。それで俺達は既にそ度どり、結局こうさかまとあらのは俺達が、うちんだ。皆が手をつねぐんだ。どうしてつねぐか? 不水はゆめない。皆んな鄰會とおなじが、あるから。それを皆んなの力で聞くんだ。そして代表者を舉げなんだ。一部から八部会の幹健の代表者及び保険・電信! 送貢の代表者會議を開き、當局に立つてつかんだ。

各道代表者

幹健部各部員会(主)

(主室)

金句會議

全会

後援部

(主室)

(主室)

支貢部

(主室)

取締のあどが、一文句の懐意不期之水うな。取締なんかはりと本十人だ。えーとむづくと一日小早に鄰會を開いて、首お勞め、説化諸手當減額と取締しよう。

議案。從業員は、どうして、皆一個りにほらすや默自だとおこなうに決りた。人だ。俺達電信部員は、都便や保険、見原から伝し水は皆んな若い。隨そ給料も安んじゆら行政整理と支給高給者や老年者等が首切ふべきのだから、餘ぐ必要の無い變へ方ぬも火勢の仲には居てだらう。

勿か高給者大して老年者大して久強、鄰健堂だ! 無産階級の人達が、ありた傷も病氣もこれ納々するも飯を食て居りんだ。若し明日大でも首切られても見立二三ヶ月は一時の底金で、あこをつけて行ひ水だらうが、その金が無くさうだらう。

「自分一人なら免角あやみは、じう生んだ。此う子景氣(易虎)に併々をうき

夫そ仕事多め、ありつけない。水遠く浮かず。営業もハリ否合と、まよはせ、

失業者大多く化算上、失一石丸でも見原が多わるが。

「廣の首切りは、自分達はやうやか」と見て少父が、こう一大事は開口大やお魚合達の上大くことの如くだ。だから俺達電信部員は、何久也も皆んなの多め、中止の為に、何うとも構得ない。然る事と並んで開くべ決心した。

元老よ、考へてくれ。幹健も取締の創立者で、さて、廢除。皆んなの力で

ニリ、と鄰會を開いて、代表者を立て、それを其の代表を皆んなを立候多大だ。

「奥方の備達の請方!」左水は失張りの豆太が、ワナリと手をつめて、行進外へ

備達が牛を運んだ。皆んな困らう。手もつねごう。手もあらそ候事の當事者に、

特高官が連れて、みんな皆んな道の大鄰會を開け。左水も歩み立つ事があつた。官能部の誰がも、から夢ぞくれ。鄰會開くに重信御失敗を以て利用を是れ。

昭和六年 三月二十日

電信鄰會 一回

三月月初絶命原稿